

# 白い森人創生プロジェクト



## 研究開発の背景

小国町保小中高一貫教育の柱の一つである地域学習を、高校段階では「白い森未来探究学」という3年間の学びに発展させ、高校と地域がより密着した学びに発展させ、地元への愛着や誇りを養い、積極的に地域とつながり、地域活動に取り組む人材を育てることで、地域活性化の一躍を担う。

## 令和元年度の目標と取組状況・成果

保小中高一貫教育（国際・情報・地域学習）を活かした小中学校との連携による白い森学習（本町の地域学習）の段階的教育

コミュニティ・スクールの特性を活かした地域における実践的な主体との連携

地域外での表現・交流の機会を増やすことによる多様性の確保

1人1台ICT端末導入。「全国高等学校小規模校サミット(本校主体の実行委員会主催)」をオンラインで実施。高校生が中学生に白い森（地域）学習支援。

白い森未来探求学は9講座・フィールドワーク4回・校内発表2回、マイプロジェクトで地域をフィールドに実践。町議員と意見交換。

地域協働活動116件(ビジネスプランコンテスト2名入賞、小論文最優秀賞1名、マイプロ山形大会7名、地域みらい塾2名、ハタラトーク～地域若手社員との対話～、パークゴルフなど)



## 今後の課題

- ☆ICT環境の整備と活用
- ☆白い森人（生徒・大人）の魅力的なカリキュラム開発
- ☆入学希望者数の拡大と全国募集